

## 春の作品展・発表会に高齢者を招待 ～地区ふれあい事業終わる～

3月3日（土）、4日（日）、高洲地区交流センターで「第27回春の作品展・発表会」が開催され日頃同センターで学習、活動しているみなさんの1年間の成果が披露されました。暖かな春の陽ざしの中、今年も大勢の方々が足を運びました。

玄関を入ると、「サークルりんどう」のみなさんによる甘酒のサービス。やさしい甘さにほっこりし



招待者（ひとり暮らし高齢者）受付の様子

はどれも目を見張るほど素晴らしく、みなさん足を止めてじっくりと見入っていました。折り紙や陶芸などの展示の中には子供たちの可愛い作品も光っていました。

1階エントランスに設けられた食推協のコーナーでは、具だくさんのとん汁サービス。みなさん口々に「おいしいね～」とニコニコ笑顔でした。

初日にはケーブルテレビの取材もあり、15日放送の「トコチャンネル」をご覧になった方もいるのでは？

2日間とも好天に恵まれ、たくさんの方とふれあうことができました。来年も楽しみです。

### ふれあい交流事業

高洲地区のひとり暮らし高齢者を、高洲地区交流センターが主催する「春の作品展・発表会」に招待し、交流センター活動者との友愛交流をとおして地域福祉の向上を図る事業。

ます。民生委員による招待者受付には、今年も90名余りのひとり暮らし高齢者のみなさんが、「来たよ～」 「毎年楽しみに来てるの」と、嬉し声と共に元気な姿を見せていました。

集会室では、美しい歌声や演奏、力強いパフォーマンスを楽しみました。今年は客席の希望者も前に出て発表者と一緒にトランポワークを体験したり、指揮者の軽妙なトークに導かれ、みんなでコーラスの方たちと一緒に歌ったり、会場全体が和気あいあいやさしい空気に包まれていました。

学習室やホール、廊下に展示された作品



食推協のみなさんによるとん汁サービス

# 地区社協福祉懇談会を開催しました！

## 『あいさつと助け合いで絆をつくる高洲』を目指して

2月22日高洲地区交流センターで、「高洲地区社協福祉懇談会」を開催し、地区の代表として73人の住民の方々が出席しました。福祉懇談会は、地域にある福祉課題を把握し、地域の活動を活性化していくため、大切な話し合いの場です。

最初に地域福祉アドバイザーの山本先生から、「今どきの地域福祉 我が事・丸ごと」をテーマに、福祉の課題や地域共生社会に向けて、地域住民の支え合い・助け合いの必要性などを講義いただきました。

続いて、平成29年度から始まった行動目標・行動方針について、各自治会が7グループに分かれて、今年度の評価と来年度に向けた話し合いを行いました。

グループワークの発表の後、山本先生から講評をいただき、福祉懇談会を閉会しました。



深田会長の開会あいさつ



グループワークの話し合い



地域福祉アドバイザー山本先生の講義と講評

### <平成29年度高洲地区社協の行動方針の評価>

	行動方針	評価結果
1	身近な話題を提供し、みんなに見てもらえる社協だよりにしよう	C
2	子どもも大人も参加したくなる交流の場を作ろう	B
3	あいさつから地域への関心を高めよう	B
4	次の時代の地区リーダーはまず町内から育てよう	C
5	災害時の意識と行動を高めよう	B

評価：A：よくできた B：まあまあできた  
C：取り組んだが上手くいかなかった  
D：やらなかった

福祉懇談会の後、各自治会の評価を踏まえて高洲地区全体の評価を行いました。

高洲地区では、ふれあいまつり等の行事が盛んに行われており、幅広い世代の方が参加していることや、防災訓練に力が入れられていること等が確認できました。

一方で、社協だよりの周知不足、町内会行事に参加できない人がいること等の課題もあります。

行動目標・行動方針の推進に向けてみなさまの力が必要です。社会福祉協議会の活動に参加をお願いします！